

平成 25 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 日本風力開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 塚脇 正幸
(コード番号 2766 マザーズ)
問合せ先 代表取締役専務 小田 耕太郎
(TEL. 03-3519-7250)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社及び当社グループは、本日発表の平成 26 年 3 月期第 2 四半期決算短信におきまして、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することとしましたので、お知らせいたします。

記

当社グループでは、前連結会計年度において、当期純利益 3,862 百万円となったものの、営業損失 726 百万円、経常損失 1,299 百万円を計上しており、当第 2 四半期連結累計期間においても営業損失 644 百万円、経常損失 828 百万円、四半期純損失 929 百万円を計上し、継続して営業損失及び経常損失を計上しております。

そのため、当社グループには継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在し、当該状況を解消すべく対応策を講じて参りました。しかしながら、当該対応策は実施途中であり、計画通りに推進できない可能性があることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるとして、平成 26 年 3 月期第 1 四半期まで「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

当社グループでは、当該状況をいち早く解消すべく、取引金融機関に対しては経営計画を提示し、売電子会社の吸収合併による当社経営の健全化、資金繰りの安定化を図ることを説明し、借入金返済条件変更等の金融支援を要請いたしました。その結果、返済期限が到来した借入金について、平成 26 年 10 月末日までの返済期限の延長を行うことについてご同意頂きました。この返済期限の延長の対象となる債務の総額は、18,700 百万円となります。

これらの状況から、依然として継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものの、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められなくなると判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。

また、平成 25 年 11 月 11 日付「平成 26 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結（及び個別）業績予想数値と実績値との差異及び平成 26 年 3 月期通期連結（及び個別）業績予想数値の修正に関するお知らせ」で公表しましたとおり、平成 26 年 3 月期通期連結業績につきましては、営業利益及び経常利益について黒字化する見込みです。さらに平成 25 年 11 月 11 日付「事業計画策定に関するお知らせ」で公表しましたとおり、平成 27 年 3 月期連結業績においても、営業利益及び経常利益は黒字となる見込みです。

今後につきましても、収益基盤及び資金繰りの更なる安定化に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上